常設展示(第22回)

土俵の周辺 - 相撲の本あれこれ-

平成4年4月23日(木)~5月26日(火)

外国人力士の活躍や若花田・貴花田ブームで大相撲が人気です。当館でも相撲に関する 資料を多く所蔵しています。今回の常設展示では、元力士が相撲の内幕を書いた本や、韓 国やモンゴルの「相撲」を紹介した本など、相撲にまつわる本を展示いたします。

展示資料リスト

1. あるフンドシかつぎ一代記 戦中・戦後の相撲秘史

小島 貞二 著

東京 ベースボール・マガジン社 1991 266p

<KD971-E54>

著者の小島貞二氏は漫画家から出羽海部屋に入門(昭和12~15年)。その後雑誌記者となった。 相撲や演芸に関する著書が多数ある。本書では双葉山時代の思い出を記す

2. とにもかくにも大相撲 コレクションにみる大相撲のうつりか わり

景山 忠弘 著

東京 ナンバーワン 1985 124p

<KD971-71>

著者は、番付、人形、手形、ポスターなど相撲コレクション 1 万点を収集。本書はその主なものを写真入りで紹介

3. 相撲おもしろちゃんこ鍋 元力士琴剣があかす相撲の世界 琴剣 著

東京 博栄出版 1991 79p

<KD971-E52>

元力士の琴剣が、自身の漫画で大相撲の世界を紹介している

4. 国技遺芳 明治·大正相撲名勝負画集

鰭崎 英朋 画

東京 四季書館 1975 2冊

<KC482-19>

明治・大正期に朝日新聞紙上に掲載された相撲絵集。写真に代わって鰭崎英朋の絵で取組の様子 を伝えた

5. The giants of sumo

Angela Patmore

London: McDonald, Queen Anne Press, 1990. 136p

<FS37-A172>

イギリスのスポーツライターが紹介する幕内力士たちの横顔

6. ジェシーとサリー ガイジン力士物語

ロバート・ホワイティング 著 松井みどり 訳

東京 筑摩書房 1986 243p

<KD971-80>

ジェシーこと高見山とサリーこと小錦、ハワイから相撲界にとびこんだ二人と日本人とのかかわりを通して、日米のスポーツ観の違いをさぐる

7. 女相撲史論

雄松 比良彦 著

京都 京都謫仙居 1975 219p

<KD871-4>

好色見世物と見なされてきた江戸時代興行女相撲を、当時の資料をもとに再検証

8. 韓國의 씨름과 **그네의**研究(韓国の相撲とブランコの研究)

崔 常壽 著

서울 正東出版社 1983 165p

<GE121-59(カード目録)>

「シルム」と呼ばれる韓国相撲および韓国に古くからあるブランコ競技「クーネ」の概要と歴史

9. モンゴルのスポーツ

東京 ベースボールマガジン社 1978 191p

<FS25-10>

先頃モンゴルからの新弟子 6 名が大相撲入りし話題となったが、モンゴルでも「相撲」は弓・競馬と並ぶ国技として人気が高い。国民的スポーツ祭典「ナーダム」での競技の様子を中心に紹介する